

## (1) 教育長報告

年月日	曜	時刻	行事名	場所
20/10/27	火	14:00	教育委員会定例会	中央公民館 中会議室
20/10/28	水	10:20	令和2年度盛岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員等研修会	サンセール盛岡1階 ダイヤモンド
		13:15	令和2年度「いわて教育の日」のつどい	岩手県民会館中ホール
20/10/29	木	11:00	【協議会】教育長部会会議	都南公民館 第1研修室
		15:30	県教委と市町村教委との意見交換会事前説明(県教委来庁)	都南分庁舎 教育長室
20/10/30	金	13:30	県教委と市町村教委との意見交換会	サンセール盛岡 1階大ホール
			【中止】桜城小学校学校公開	桜城小学校
20/10/31	土	13:30	【市長代理】上田中学校創立70周年記念式典	盛岡市民文化ホールマリオス大ホール
20/11/01	日			
20/11/02	月		【中止】下小路中学校学校公開	下小路中学校
20/11/03	火	10:00	市勢振興功労者表彰式	中央公民館 講堂
20/11/04	水	9:30	辞令交付式(猿川都南図書館長)	都南分庁舎 教育長室
		11:00	【縮小開催】第100回原敬忌追悼会	黄檗宗大慈寺
20/11/05	木	10:30	第3回盛岡教育事務所管内教育長会議	渋民公民館 大会議室
		13:30	第2回盛岡教育事務所管内公立小・中学校校長会議(挨拶)	渋民文化会館 姫神ホール
20/11/06	金	14:00	小苺米清弘氏(東洋大学名誉教授)来訪	都南分庁舎 教育長室
20/11/07	土			
20/11/08	日			
20/11/09	月			
20/11/10	火	14:00	教育委員会臨時会	都南分庁舎 教育委員会室
			【中止】黒石野中学校学校公開	黒石野中学校
20/11/11	水			
20/11/12	木			
20/11/13	金	13:30	令和2年度第2回社会教育委員会会議	都南分庁舎 4階大会議室
			【中止】【協議会】令和2年度岩手県教職員表彰式(祝辞)	岩手県民会館 大ホール
20/11/14	土			
20/11/15	日		【中止】R2盛岡市PTA連合会年次表彰式	サンセール盛岡
20/11/16	火	14:00	第4回市内校長・園長会議	都南分庁舎 4階大会議室
		16:00	学務教職員課用務	都南分庁舎 教育長室
20/11/17	火			
20/11/18	水			
20/11/19	木	14:00	キャリア教育推進協議会	都南分庁舎 大会議室
			【中止】津志田小学校創立40周年記念式典	津志田小学校
20/11/20	金	10:00	盛岡市総合計画審議会	本庁舎本館8階会議室
		16:30	臨時校長園長会議	都南分庁舎 3階研修室
20/11/21	土			
20/11/22	日			
20/11/23	月			
20/11/24	火	13:00	【市議会】全員協議会	本庁舎 委員会室

年月日	曜	時刻	行事名	場所
20/11/25	水	14:00	「盛岡南高校の存続を願う会」来訪	都南分庁舎 教育委員会室
20/11/26	木	14:00	教育委員会定例会	本庁舎本館8階会議室

## (2) 令和2年度第2回盛岡市社会教育委員会議の概要について

- 1 日 時 令和2年11月13日(金) 午後1時30分から3時00分まで
- 2 場 所 都南分庁舎 4階大会議室
- 3 出席者 社会教育委員18名, 教育長, 教育部長, 教育次長, 生涯学習課長, 生涯学習課長補佐, 歴史文化課長, 中央公民館長, 市立図書館長, 区界高原少年自然の家所長, 市民協働推進課長, 生涯学習課7名

[オブザーバー出席] 公益財団法人盛岡市文化振興事業団事務局次長, 盛岡サイエンスグループ子ども科学館長, 第一商事株式会社見前南地区公民館長, もりおか歴史文化館活性化グループ総括責任者

### 4 内容

#### (1) 報告

- ア 令和2年度各公民館事業の中間報告について
- イ 各公民館サークル団体一覧について
- ウ 令和3年「盛岡市成人のつどい」の開催について
- エ 石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館整備基本計画(案)の概要について

#### (2) 議事

- ア 令和3年度社会教育行政の基本方針と重点施策について
- イ 令和3年度文化財行政の基本方針と主要施策について
- ウ 令和3年度社会教育関係団体への補助金交付予定について
- エ 社会教育・文化財行政への提言について

### 5 主な意見

No	質問意見等	回答
1	【新型コロナウイルス関連について】 コロナ禍にあって、社会教育関係団体の活動は継続できているのか。	5月に休館措置解除後、活動を再開する団体が徐々に増えてきており、現在7～8割程度団体の活動が再開されている。  (中央公民館)
2	【公民館サークル団体一覧について】 サークル団体の数は年々増えているのか。	サークル構成員の高齢化により、解散する団体が出てきており、減少傾向にある。  (中央公民館)
3	【成人のつどいについて】 記念撮影スポットへの来場者はどのくらい見込んでいるのか。	昨年の来場者の4割の800名程度を想定しており、撮影用バックボードを4枚設置する予定である。  (生涯学習課)
4	【啄木記念館・玉山歴史民俗資料館について】 啄木記念館には素晴らしい中庭があるが、	中庭の保存については、玉山地域振興会議からも答申として出ている。可能な限り中庭を残

	今回の整備に当たり、壊したり狭めたりしないよう保存をお願いしたい。	せるように整備する。  (歴史文化課)
5	【啄木記念館・玉山歴史民俗資料館について】 現啄木記念館は耐震基準を満たしているのか。	昭和56年に施行された新耐震基準の後に建築されていることから、基準を満たしている。  (歴史文化課)
6	【少年指導員について】 少年指導員について、養成している人数と指導員の人数は。	令和2年度は養成講座に4名が受講し、全員資格証の交付を受けた。現在登録している指導員は150名程度である。  (生涯学習課)
7	【(仮称) 南部地区公民館について】 南部公民館の整備について、具体的に進んでいるか。	令和2年度中に整備基本構想を定めて、令和3年度から事業化できるよう進めている。  (生涯学習課)
8	【安倍館遺跡について】 安倍館遺跡は安倍館保育園を建てた時に見つかった。堀に民家が建っていたりするが、整備すれば貴重な遺跡であると考えことから今後の環境保全をお願いしたい。	要望につき回答なし
9	【少年少女発明クラブについて】 子ども科学館の少年少女発明クラブへ補助金を出しているが、定員と応募者数は。	各15名定員の班が2つあり、毎年定員を超える応募がある。  (子ども科学館)
10	【啄木記念館・玉山歴史民俗資料館について】 啄木記念館・玉山歴史民俗資料館整備のスケジュールについて、予定の令和3年度基本設計、令和4年度実施設計を1年にまとめて、早期の供用開始を望む声が玉山地域振興会議でも出ているのでよろしくをお願いしたい。	要望につき回答なし

議案第 23 号

令和 2 年度盛岡市教育委員会点検評価報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条の規定により，令和元年度に盛岡市教育委員会が実施した事務の管理及び執行の状況について，点検及び評価を行い，別紙のとおり報告書を作成するものとする。

令和 2 年11月26日提出

盛岡市教育委員会教育長 千 葉 仁 一

提案理由

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について，点検及び評価を行い，その結果に関する報告書を作成しようとするものである。

# 令和2年度 行政評価結果

## 【第1巻 事後評価】

評価からはじめるまちづくり

令和2年 12月

盛岡市

## 【施策評価(令和元年度実績評価)】

### 施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力があふれるまちづくり
施策	11	歴史・文化の継承
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	豊岡 勝敏 教育部長	
評価シート作成者	大澤 浩 教育次長	

### 「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)	施策評価全体を踏まえた評価責任者意見
<p>地域に受け継がれている歴史や文化に誇りを持ち、次世代に伝えていくため、文化財の保護に取り組むとともに、市民が歴史や文化に理解を深め、身近に感じることができるよう、文化財の幅広い活用を図る。</p>	<p>地域に受け継がれている歴史や文化に親しむこと、そして、それを次世代に継承することは、地域づくりにとって大切なことであるが、市民の関心はあまり高まっていないと捉えている。企画展や各イベントについて、更に創意工夫、改善し、意識啓発を図る必要がある。</p> <p>また、博物館等施設については、市民が関心を持ち訪れてみたいと思うような魅力的な施設であり続けるよう、計画的に施設の修繕・改修・整備を行っていく必要がある。</p> <p>今後も、市民が地域の歴史や文化に興味を持ち、文化財の大切さを意識させ、施設の来館者の増加にもつながるよう、ソフト・ハード両面から、施策展開に努めたい。</p>

### 施策の概要

主な取組内容
<p>文化財の保護と活用については、文化財の指定により保護を行い、青少年郷土芸能フェスティバル等の開催を支援し、活用を図り、無形民俗文化財保持団体の一部では後継者が増加した。また、埋蔵文化財については、適切な調査・記録と保存・展示を行った。</p> <p>博物館等施設の整備・充実については、各館とも事業の企画や案内周知に積極的に取り組み、9施設中、6施設で入館者が前年度より増加した。</p>

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民	地域に受け継がれている歴史や文化への関心が深まる。
文化財	地域に受け継がれている歴史や文化が保護、継承される。

### 施策の成果指標の状況・評価

実績値の推移				進捗の評価			
指標①	文化財数(国・県・市指定)	単 位	目指す方向	○ 順調に進捗している(令和元年度目標値には達していないが、それに近い水準まで達しており、令和6年度目標値は達成見込み)			
当初値 (H25)	270	件	↗	指定の文化財は、前年度に比べ増減はなかった。既に指定となっている文化財等は存続できた。			
R1目標値	276						
R6目標値	280						
<p>※H28実績値に誤りがあったため修正している</p>							

  

実績値の推移				進捗の評価			
指標②	まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向	○ 順調に進捗している(令和元年度目標値には達していないが、それに近い水準まで達しており、令和6年度目標値は達成見込み)			
当初値 (H25)	58.6	%	↗	まちづくりアンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合が、1.6%減少した。博物館施設等が、市民に対し、歴史・文化財を活用した事業や学習機会を提供した。			
R1目標値	61.8						
R6目標値	65.0						

進捗の評価(3段階): ◎ 非常に順調に進捗している(令和元年度目標値を達成しており、令和6年度目標値も達成見込み)、○ 順調に進捗している(令和元年度目標値には達していないが、それに近い水準まで達しており、令和6年度目標値は達成見込み)、△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり、令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)

### 小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

小 施 策	成果点・問題点	今後の方向性
11-1 文化財の保護と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の指定候補案件の調査を進めたほか、補助金の支援等により文化財の保護が図られた。</li> <li>有形文化財等において、周辺環境も含め、適切な保存・修繕が難しくなっているものもある。</li> <li>無形民俗文化財は、深刻な後継者不足に直面している団体もあり、民俗芸能保持団体の特性に応じた対策が必要となっている。</li> <li>埋蔵文化財の出土資料は、増え続け、従来の施設には収まりきれず、仮設の施設にも仮置きしている状況である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財等の保存・修繕のため、必要に応じて、町内会等地元住民への協力要請を行う。</li> <li>盛岡市歴史的風致維持向上計画等に基づき、補助制度を活用しながら、文化財の保護と活用に取り組む。</li> <li>民俗芸能保持団体の後継者不足について、盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会と連携しながら支援策を講じる。また、地域における行事等を捉えて、発表の機会を確保し、民俗芸能の周知を図る。</li> <li>埋蔵文化財発掘の出土資料を、活用頻度等により再配置を行うとともに、空き教室等を利用するなど、収蔵場所の確保を図る。</li> <li>未指定の文化財も含め、文化財をまちづくりに生かしつつ、地域社会との協働でその承継に取り組む必要があるため、文化財保存活用地域計画を策定する。</li> </ul>
11-2 博物館等施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度は即位の礼など時事に合わせた展示や子供向けの講座などのイベントを工夫し、9施設のうち6施設の入館者が増加した。</li> <li>各施設とも施設・設備の老朽化が進み、修繕が必要な箇所が増え、来館者の受入れ環境が改善できない箇所がある。</li> <li>入館者からは、魅力的でわかりやすい展示説明等をはじめ、使いやすい快適な施設環境の維持・整備が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種企画展をはじめ、魅力的で話題性を捉えたイベントの開催のほか、各施設の情報案内・広報の強化を図るとともに、施設外へ出向く「出前講座」の充実に取り組む。</li> <li>学校や他団体のイベント等と連携するなど、機会を捉えて幅広くPRを行い、利用促進を図る。</li> <li>玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館の整備を進める。</li> <li>施設や設備の修繕については、優先順位を検討し、計画的に対応していく。</li> <li>文化財保存活用地域計画において、博物館等施設における歴史資料の保存・活用のあり方を検討する。</li> </ul>

# 【施策評価(令和元年度実績評価)】

## 施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり
施策	17	子どもの教育の充実
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	豊岡 勝敏 教育部長	
評価シート作成者	大澤 浩 教育次長	

## 「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)	施策評価全体を踏まえた評価責任者意見
子ども一人ひとりの個性をいかし、学力を定着させ、生きる力を育むことができるように、学校や家庭、地域などが連携しながら、子どもの教育の充実と健全な育成を図る。	盛岡市学校教育の目標を、「子どもたち一人一人に、自立して社会で生きていくための基礎を育む」とし、全市民的な取組を総合的に進めており、一定の効果が出ているものと認識している。 成果指標としている小中学校の学力については、学力向上推進事業による授業改善等の取組により、全ての指標で全国水準を上回る傾向が維持され、体力運動能力については、令和元年度に比べ低下した項目が見られる。 学力、体力運動能力とも、なお課題があることから、要因を分析し、取組方法を研究しながら、引き続き全市民的な取組を展開していく必要がある。

## 施策の概要

主な取組内容
教員の指導力向上のための取組を行い、児童生徒の学力向上を図るとともに、道徳教育・先人教育の充実などにより、豊かな心の育成を進めた。 また、スクールアシスタントや不登校生徒等対策相談員を配置し、個別に配慮が必要な児童生徒への支援に取り組んだ。 学校等の施設については、校舎及び屋内運動場の大規模改修工事、プール改修工事、トイレ改修工事並びに小中学校及び幼稚園への空調設備設置工事等を行ったほか、施設の適切な維持保全に努めた。

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
小中学生	学力の向上が図られる。 心身ともに健全育成が図られる。
幼児	健やかな成長が図られる。
高校生	学力の向上が図られる。 生徒一人一人の希望に沿った進路の実現が図られる。
教員	誠実公正でかつ指導力が向上されている。
小中学校施設等	充実した教育環境に整備され、良好に保たれている。

## 施策の成果指標の状況・評価

実績値の推移				進捗の評価	
指標①	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小中学校4年生:国語】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	<p>△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり、令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)</p> <p>・叙述に即して、言葉と言葉との関係を言葉の意味や働き等に着目させながら文章を読むことや事実と意見を区別して書くことや自分の考えを支える理由や事例を明確にして書くことの学習活動の充実が必要である。</p>	
当初値(H25)	110.6	R1目標値	113.0		R6目標値
指標②	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小中学校4年生:算数】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	<p>△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり、令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)</p> <p>・学習内容を関連付けて考えることや総合的・発展的に考えることの学習活動の充実が必要である。</p>	
当初値(H25)	108.4	R1目標値	110.0		R6目標値
指標③	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:国語】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	<p>△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり、令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)</p> <p>・文章全体をとらえること、事実と感想、意見などの関係を押さえて読むこと、要点をまとめて書くことの学習活動の充実が必要である。 ・話し合いの進め方を意識して言語活動を展開することが必要である。</p>	
当初値(H25)	103.8	R1目標値	107.0		R6目標値
指標④	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:数学】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	<p>△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり、令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)</p> <p>・計算技能の確実な定着を図る指導が必要である。 ・授業における考えを数学的に表現し伝え合うことや問題解決の方法について説明したり検討したりすることの学習活動の充実が必要である。</p>	
当初値(H25)	102.2	R1目標値	105.0		R6目標値
指標⑤	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:英語】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	<p>△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり、令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)</p> <p>・正しい文法について、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の全領域でバランスよく指導することが必要である。 ・「聞くこと」「話すこと」の領域で目的や場面、状況等に応じて考え表現する学習活動を充実させることが必要である。</p>	
当初値(H25)	103.2	R1目標値	105.0		R6目標値
指標⑥	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生:男】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	<p>△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり、令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)</p> <p>過去の体力調査結果では、落ち込みがみられる学年ではあるが、筋力(握力)が全国との比較において高い結果となった。また、全身持久力(20mシャトルラン)とスピード(50m走)は、改善が図られてきているが、全国との比較において低い結果となった。 普段から、望ましい姿勢づくりや体育の授業での運動量を確保するとともに、盛岡市とスポーツ協会と協力し、SAQトレーニングの取組をさらに改善・充実させる必要がある。</p>	
当初値(H25)	97.8	R1目標値	101.0		R6目標値



実績値の推移				進捗の評価			
指標⑦	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生:女】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり, 令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)			
当初値	25.0	100.5	R1目標値	101.0	R6目標値	101.0	
指標⑧	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:男】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり, 令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)			
当初値	(H25)	100.4	R1目標値	102.0	R6目標値	102.0	
指標⑨	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:女】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり, 令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)			
当初値	(H25)	100.2	R1目標値	102.0	R6目標値	102.0	
指標⑩		単位	目指す方向				
当初値	(H25)		R1目標値		R6目標値		

進捗の評価(3段階): ◎ 非常に順調に進捗している(令和元年度目標値を達成しており, 令和6年度目標値も達成見込み), ○ 順調に進捗している(令和元年度目標値には達していないが, それに近い水準まで達しており, 令和6年度目標値は達成見込み), △ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり, 令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)

### 小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

小 施 策		成果点・問題点	今後の方向性
17-1	小中学校教育の充実	<p>○学力検査</p> <p>1 小学校4年生国語 ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において, 全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では, 「書くこと」領域の全国比が117であり, 「話すこと・聞くこと」領域, 「読むこと」領域及び「伝統的な言語文化と国語の特質」領域でも全国平均を上回っている。 ・「読むこと」領域の小問内容「叙述に即した読み取り」において, 誤答率が5割以上である。</p> <p>2 小学校4年生算数 ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において, 全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では, 「数量関係」領域の全国比が115であり, 「数と計算」領域, 「量と測定」領域及び「図形」領域でも全国平均を上回っている。 ・「図形」領域の小問内容「二等辺三角形の説明」「二等辺三角形をかく」において, 誤答率が5割を超えている。</p> <p>3 中学校2年生国語 ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において, 全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では, 「書くこと」の全国比が111であり, 「話すこと・聞くこと」領域, 「読むこと」領域及び「伝統的な言語文化と国語の特質」領域でも全国平均を上回っている。 ・「読むこと」領域の小問内容「行動と理由の読み取り」「叙述に即した読み取り」において誤答率が6割を超えている。また, 「要点をまとめる」「要点の読み取り」において, 無答率が6割を超えている。</p> <p>4 中学校2年生数学 ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において, 全国平均より高い水準であった。各領域の正答率では, 「資料の活用」領域の全国比が119であり, 「図形」領域でも全国平均を上回っている。なお, 「数と式」領域と「関数」領域は全国平均と同程度であった。 ・「数と計算」領域の小問内容「正負の数の計算」「1次方程式を解くこと」において正答率が5割を下回っている。また, 「正負の数の活用・説明」「比例の利用・説明」において, 無答率が5割を超えている。</p> <p>5 中学校2年生英語 ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において, 全国平均より高い水準であった。各領域の正答率では, 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域で全国平均正答率を上回っている。 ・「書くこと」領域の小問内容「適語選択 be動詞」「語順整理 疑問詞」において, 誤答率が6割を超えている。</p> <p>○体力運動能力調査 (小学校) ・体育の授業や休み時間等での運動量確保や, 盛岡市とスポーツ協会と協力し, SAQTレーニングの取組によって改善が図られている。 ・正しい姿勢で歩いたり走ったりできる児童が減少してきている。 ・登下校時の保護者による送り迎えが増えてきていることも要因の一つとして考えられる。 (中学校) ・体育の授業での運動量確保や, 部活動での運動量確保と休養のバランスがとれたこのなどによって基礎体力の強化が図られたことが要因の一つと考えられる。 ・盛岡市の全身持久力(20mシャトルラン)とスピード(50m走)の値が上がってきている現状であるが, 全国基準値も上がってきている。 ・運動に対して, 正しく身体を動かすことができない生徒が多い。</p>	<p>○学力検査</p> <p>・校内研究会において, 全学的共通取り組み内容である「見通しをもつ活動」「考え, 学び合う活動」「振り返る活動」の学習活動の意味・意義の説明を繰り返すとともに, 数学的に表現し伝え合いながら「考えを深める学び合い」の保障につながる具体的な指導・助言を行う。 ・「各種学力調査における誤答や無回答の要因を分析し, 指導に生かすこと」, 『「確かな学力育成プラン」の年度をまたいだ共有』を通して, 指導改善のCAPDサイクルを機能させる。 ・家庭学習について量的な改善が図られてきているため, 質的な改善を図るとともに, 主体的に学ぶ生徒を育成する。</p> <p>○体力運動能力調査 (小学校) ・交通機関の関係や登下校時の問題もあり, 保護者の送り迎えが増えてきているが, 徒歩の登下校の呼びかけをし, 基礎体力の向上を図っていく。 ・体力向上に係る実践を研究発表会や公開講座で広めることにより, 各学校に啓発しながら体力向上を図っていく。 ・研究発表会での実践では, 9年間を見通して「走る」に特化し, 研究を推進する。 (中学校) ・小学校に引き続き, 「走る」に特化し, 体力の向上を図っていく。 ・体育の授業や部活動を通して, ウォーミングアップの重要性を理解させ, 正しい身体の使い方を習得させることで, 基礎体力の向上を図っていく。 ・体力向上に係る実践を研究発表会や公開講座で広めることにより, 各学校に啓発しながら体力向上を図っていく。</p>

小 施 策		成果点・問題点
17-2	幼稚園教育の充実	保護者の満足度は向上しているが、一部の幼稚園では、園児の減少に伴い、発達段階に応じた幼児教育が保障されにくい状況が生じている。 また、子育て支援として保護者のニーズに対応した保育サービスの充実が求められているが、運営効率の面から取組拡大は困難である。
17-3	高等学校教育の充実	進路指導が充実し、希望する進学・就職の目標達成率が向上している。 総合生活力・人生設計力の育成が求められるとともに、特別進学コースの安定的な国公立大学等への合格率を維持することが必要である。
17-4	教職員研修の充実	○令和元年度から、夏季のみ年1回の開催としたが、目標値を上回る参加を得ることができた。 ○参加者アンケートでは、満足度は高い(4段階評価のうち3と4が多く、平均3.76)。  ●夏期休業中の開催では、中学校の運動部の東北大会や高校体験入学等が重なることによる負担感についての声が聞かれた。 ●開催期日や受講環境が満足度における課題が見られた。
17-5	学校施設の整備・充実	・新たな事業の着手(基本設計の実施)は無かったが、既に着手している事業に係る工事及び実施設計を実施することができた。 ・学校を含む公共施設について、限られた財源を効果的に活用し、計画的な保全の実施と施設の長寿命化を図り、次世代に大きな負担を強いることなく、「公共施設の保有の最適化」を推進し、持続可能な市民サービスの提供を目指す必要がある。

今後の方向性
幼児理解に基づく個の特性に応じた指導や保護者への積極的な情報発信、小学校教育との円滑な接続を図る幼児教育を提供する。市立幼稚園各園の今後の在り方について方針を定める。
「総合的な探究の時間」等を通して、生徒自ら課題を見つけ、解決する力の育成や将来について深く考える機会を充実させる。教職員大学院との連携等を通して、生徒の意欲を高める授業改善を目指すとともに、教員の実践的指導力の向上を図る。
○従来の講座に加え、時宜を得たテーマを取り入れて開催する。 ・学習指導要領の改訂・小学校プログラミング教育に係る講座 道徳科に係る講座 ・今日的課題・幼・保・小接続 教育相談に係る講座 自殺予防に係る講座 LGBTへの理解と対応 ○岩手県立総合教育センターの研修、授業力改善研修、教育課程説明会、学校行事等の開催期日や内容、実施の有無(コロナ禍)等について確認しながら、令和2年度は人数、講座数共に縮小して開催する。
・「長寿命化工事実施マニュアル」に基づき、事業費の精査を行い、限られた財源を効果的に活用することにより、将来にわたって様々なニーズに対応できる施設整備に努めていく。 ・「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」と整合を図りつつ、施設の複合化が円滑に進むよう関係団体、関係部署等と緊密な調整を進めていく。 ・学校プールの老朽化への対応として、大規模改修の他に、学校プールの共用化、水泳授業の民間委託及び市営プールの使用等について検討を進める。

## 【施策評価(令和元年度実績評価)】

### 施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり
施策	18	生涯学習の推進
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	豊岡 勝敏 教育部長	
評価シート作成者	大澤 浩 教育次長	

### 「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)	施策評価全体を踏まえた評価責任者意見
誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築を図る。	社会教育施設では、市民の生涯学習を支援するため、市民ニーズを捉え、多様な講座の開催に努めているところであるが、受講者の年代や性別に偏りがあるほか、多様化するライフスタイルにも幅広く学習機会に接することができるよう、更なる創意工夫、改善が必要と考えている。 また、社会教育施設についても老朽化が進んでおり、市民が安全・安心に利用できる施設であることに加え、利便性の高い施設となるよう修繕・改修・整備を計画的に実施していく必要がある。 今後も、市民の学習意欲を高め期待に応えられるよう、ソフト・ハード両面から、生涯学習推進のための環境づくりに努める必要がある。

### 施策の概要

主な取組内容
市民ニーズを把握しながら、各公民館等において、家庭教育支援・青少年教育・成人教育・高齢者教育・芸術文化活動・生涯学習推進・地域連携など幅広いテーマで学習機会の提供に努めた。 また、中央公民館の大規模改修工事(企画展示室を除く)及び飯岡地区公民館の長寿命化修繕(20年目)を実施するなど、市民の良好な学習環境の整備に努めた。

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民	意欲的に学習活動に取り組む。
社会教育施設	計画的な整備や修繕により良好な環境が保たれる。

### 施策の成果指標の状況・評価

実績値の推移				進捗の評価		実績値の推移				進捗の評価	
指標①	単 位	目指す方向	単 位	目指す方向	指標②	単 位	目指す方向	単 位	目指す方向	単 位	目指す方向
まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの学習をした」と答えた市民の割合	%	↗									
当初値 (H25) 40.6	R1目標値 43.9	R6目標値 47.2			当初値 (H25)	R1目標値	R6目標値				
				<p>△ 遅れが生じている(R1目標値の達成が困難)</p> <p>・社会教育施設における学習講座は、多くの参加が期待できる市民が学びたいテーマだけでなく、防災や環境など社会の変化に応じて学んでほしいテーマとのバランスを図りながら実施する必要があること、また、講座開催が日中に偏っていることが、主催講座の参加者が伸びない要因と思われる。 ・学習活動の機会や時間の確保が難しい働き世代の講座参加者数が少ない状況にある。 ・ライフスタイルの多様化、情報通信機器の発達等により、生涯学習に対する市民意識が変化していることが背景にあるものと考えている。</p>							

進捗の評価(3段階):◎ 非常に順調に進捗している(令和元年度目標値を達成しており、令和6年度目標値も達成見込み)、○ 順調に進捗している(令和元年度目標値には達していないが、それに近い水準まで達しており、令和6年度目標値は達成見込み)、△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり、令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)

### 小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

小 施 策	成果点・問題点	今後の方向性
18-1 社会教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びの循環推進事業では、多彩な講座メニューを用意し、市民の継続的な学習活動に活用されているが、依頼講師に偏りがあるほか、防災や環境など社会的な課題をテーマとする講座への講師派遣が減少している。</li> <li>家庭教育支援や青少年教育など社会教育事業の提供により、市民の学習機会の充実が図られるとともに、中学生リーダーや新成人のリーダーが育成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育に関する事業の効果的な周知方法を検討するとともに、家庭教育支援や青少年教育など社会教育に係る学習機会の充実と団体の育成支援を継続する。</li> </ul>
18-2 社会教育施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座により参加者数に偏りがあるほか、勤労青年層の参加が少ない。</li> <li>中央公民館の大規模改修工事(企画展示室を除く)、飯岡地区公民館の長寿命化修繕(20年目)及び市立図書館の耐震補強・大規模改修に係る基本設計が完了した。また、(仮称)南部公民館整備事業が総合計画に位置付けられた。</li> <li>老朽化の進む社会教育施設の計画的な改修、及び新たな施設整備を進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズの把握に努め、学習テーマのバランスを図り、魅力ある講座を実施する。</li> <li>老朽化した社会教育施設の計画的な改修、及び「公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針」との整合を図りながら、市民ニーズに対応した新たな施設整備を推進する。</li> </ul>